

# 鉄研通信

## 第十二号

令和二年七月九日発行  
編集：高一部員

昨今の新型コロナウイルス感染症により、密集・密接・密閉の三密を回避する行動が推奨されている。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための鉄道会社の対策を紹介する。一つ目は、換気の徹底だ。換気はどの会社も徹底して行っていた。基本的には、空調装置にて換気を行っていた。さらなる換気が必要な場合は、乗客が必要に応じて開閉可能な窓を開けて対応していた。また、JR西日本では、今までドアを手動扱いとしていた駅も、換気を徹底するため、基本的には、列車には優秀な換気装置がつけられており、六分七分で車内のほとんどの空気が交換されるようになった。



▲京阪電車での窓開放による換気の取り組み

二つ目は、運転士や車掌、駅係員など、乗客と接しながら職務に当たる職員のマスキの着用の徹底である。さらに、JRや私鉄の改札の窓口に、ビニールカーテンがもうけられている。

三つ目は、車内放送や駅構内放送での医療従事者の方々や日々を支えるために出勤してくださっている皆様の方々への感謝の放送と、テレワークや時差出勤への呼びかけをしている。JR西日本では、一週間ごとに、各時間帯の列車混雑状況を「JR西日本のWebサイト」で公開し、関西五大私鉄では、主要駅における朝夕の時間帯の改札入出場数を公開し、何時頃がピークかを各社Webサイトにアップしている。どの会社も列車の三密回避に力を入れている。

四つ目は、車両への加工である。「JR西日本」では、加工を施した車両には、抗ウイルス抗菌処置済と書かれたシールが貼られている。環状線を走る三二三系には、ドアとドアの間の大きな窓の真ん中に貼ってあるので、機会があれば、是非見ていただきたい。五つ目は、密回避への協力を促すためのチケットレス特急券割引制度だ。

これは、「JR西日本」の取り組みで、定期券と一緒に使うチケットレス特急券を発売する期間限定の対策である。たとえば、通常、新大阪から天王寺までの指定席特急料金は、一一九〇円だが、この期間限定・定期券併用チケットレス特急券を使用すると三〇〇円で乗車することができる。三〇〇円払えば密が避けられ、座って通勤・通学できるので、是非使っていただきたい。区間はここ以外にも設定されているので、詳しくは「JR西日本のWebサイト」にて確認してほしい。

最後は、ソーシャルスタンスの確保だ。券売機に並ぶとき、足下に、足跡のピクトグラムが描かれたサインが貼られている。列車内でソーシャルスタンスをとることが難しい分、ほかの場所で極力感染リスクを減らそうという、感染拡大防止に真剣に対応している姿勢が見て取れる。

以上が主な鉄道会社のコロナ対策である。他にもたくさんの方々の対策をとっているが、今回は割愛させていただく。我々が安心して鉄道を利用し、通勤・通学ができるのも、鉄道会社の並々ならぬ努力の上に成り立っていることを忘れてはならない。